

お知らせ

～新型コロナウイルスワクチン開発パートナー BioComo 社がリリースを発表～

新型コロナウイルスワクチンに関して、当社と共同で開発を進めているバイオコモ株式会社（三重県三重郡菰野町菰野 1325 番地、代表取締役社長 福村正之）（以下、「BioComo 社」）は、2020年9月11日、「**BC-PIV ベクターを用いた RS ウイルスワクチンのマウス試験において高い中和抗体誘導確認に関するお知らせ**」というプレスリリースを発表しました。

BioComo 社が三重大学と開発したプラットフォーム技術である BC-PIV・VLP/BC-PIV に RS ウイルス特有の抗原を搭載した RS ウイルスワクチンを作製し、経鼻経由でマウスに接種いたしました。その結果、当該ワクチン投与マウスでは RS ウイルスに対する強い中和抗体の誘導が確認されました。

RS ウイルスはヒトの呼吸器に感染するウイルスで、生涯を通じて再感染を起こします。健康成人では通常、軽い感冒症状で済むことが多いのですが、初めて感染する乳幼児、免疫が弱くなっている方、高齢の方では気管支炎、細気管支炎、肺炎など重症化することが知られています。ワクチン開発が過去 30 年来続けられていますが、未だ成功に至っていません。

BC-PIV を用いた経鼻投与ワクチンで、RS ウイルスに対する中和抗体の誘導を確認できたことは、同じ BC-PIV を用いた経鼻投与型の新型コロナウイルスワクチンの開発において、科学的、技術的なサポートになります。RS ウイルスワクチンと同じように新型コロナウイルスワクチンも経鼻投与で中和抗体を産生できる可能性を強くサポートするものと考えております。

今回、RS ウイルスワクチンのマウス試験を行ったドイツのフランホーファー研究機構細胞療法・免疫学研究所 IZI (Fraunhofer IZI, Leipzig) ^{*1} は欧州最大の医薬、ライフサイエンス領域の研究開発機関です。

新型コロナウイルスワクチンの開発においても、本研究所への試験を依頼する予定です。

当社および BioComo 社は新型コロナウイルスワクチンについて、早期の実用化を目指して取り組んでまいります。

以上

^{*1} フランホーファー研究機構細胞療法・免疫学研究所 (Fraunhofer IZI)

フランホーファー研究機構（独：Fraunhofer-Gesellschaft）は、ドイツ全土に 74 の研究所・研究ユニットを持つ欧州最大の応用研究機関 フランホーファー IZI は、医薬、ライフサイエンス領域の研究開発を実施する研究機関です。（BioComo 社プレスリリースより）